

令和7年度 第2回千歳市都市計画審議会 会議概要

日 時：令和7年8月21日（木）15:00～16:30

場 所：千歳市議会棟大会議室

出席者：（委員出席者） 山林委員（会長）、長島委員（副会長）
佐々木（雅）委員、平川委員、佐々木（昭）委員
堀田委員、藤吉委員、三春委員、青木委員、北原委員
石井委員、眞鍋委員、渡辺委員
（委員欠席者） 有村委員、山本委員、三崎委員
（事務局） 企画部長、企画部次長、まちづくり推進課長
ほか3名
（傍聴者） 1名（報道機関関係者除く）

【会議結果】

1 諮問事項

- （1）千歳恵庭圏都市計画区域区分の変更について
- （2）千歳恵庭圏都市計画用途地域の変更について
- （3）千歳恵庭圏都市計画地区計画の決定（根志越第5地区）について
- （4）千歳恵庭圏都市計画公園の変更について
- （5）千歳恵庭圏都市計画下水道の変更について

上記の諮問事項（1）～（5）について、承認された。

2 報告事項

- （1）「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の中間見直し及び区域区分の変更（計画ビジョンフレーム）について
- （2）千歳市第3期都市計画マスタープランの部分改訂について

上記の報告事項（1）、（2）について、報告済みとなった。

【会議における意見及び質疑応答等】

1 諮問事項

- （1）千歳恵庭圏都市計画区域区分の変更について

【委員】

根志越第五地区及び第六地区で保留解除する人口は350人であり、今回の区域区分の変更で保留する人口フレーム1,400人分を全て解除することだが、どのような計算となるか。

【事務局】

令和3年3月に決定した区域区分により、保留人口フレームとして1,400人分確保しており、これまでに保留解除した、あずさ西地区、北信濃第五地区及び北信濃第六地区の人口に今回解除する350人を加算し、合計1,400人となる。

(4) 千歳恵庭圏都市計画公園の変更について

【委員】

都市計画公園として追加される「あずさ8号公園」及び「あずさ9号公園」の名称は、確定したものか。また、字名は「根志越」から「あずさ」へ変更するのか。

【事務局】

都市計画公園の名称は、「あずさ8号公園」及び「あずさ9号公園」で決定予定である。字名については、住居表示審議会など必要な手続きを経て決定することとなるが、市街化区域への編入にともない「根志越」から「あずさ」への変更を予定している。

(5) 千歳恵庭圏都市計画下水道の変更について

【委員】

根志越地区の下水道は、合流式か分流式のどちらか。また、調整池は作る予定か。

【事務局】

分流式を計画している。調整池は根志越第五地区及び第六地区各々に設ける予定である。

2 報告事項

(1) 「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の中間見直し及び 区域区分の変更（計画ビジョンフレーム）について

【委員】

「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（以下、「整・開・保」と言う。）について、令和7年から令和8年にかけて中間見直しを実施することのだが、決定権者を伺う。また、見直しは、千歳独自で行うものなのか。

【事務局】

「整・開・保」の中間見直しの決定権者は北海道である。見直しは、千歳恵庭圏の都市計画となることから、恵庭市と一緒に計画案を作成することとなる。

【委員】

計画ビジョンフレームは、半導体関連企業の立地に伴うものでなければ、活用できないのか。

【事務局】

そのとおりである。

(2) 千歳市第3期都市計画マスタープランの部分改訂について

【委員】

ラピダス社の立地により、家賃や地価の上昇、住宅不足が深刻化しており、人口増加が想定を下回っている。こうした状況を踏まえると、住宅地の供給は早急に進めるべきであり、スピード感のある対応が必要ではないか。

【事務局】

千歳市第3期都市計画マスタープラン（以下、都市マスと言う。）は上位計画である「整・開・保」に則す必要があり、「整・開・保」の見直しと併せ都市マスを改訂することとしたものである。住宅地については、あずさ西地区、北信濃地区及び根志越地区を市街化区域に編入し、供給を図っている。また、既成市街地においても市有地の売却や市営住宅跡地の土地利用転換を図るなど、住宅地の供給を図っており、切れ目なく住宅地の供給を進めてきたところである。

今回の区域区分見直しで、保留していたフレームがなくなることから、今後の市街化区域編入について、「整・開・保」及び都市マスを改訂し、検討していくこととしている。

【委員】

まちづくり推進課の事情は理解するが、市全体として、土地の高騰、アパート家賃の高騰の対策をしないと、人口がどんどん減っていつてしまうことを一番危惧している。

【事務局】

我々も同じ思いを持っている。対策するため、当市は、ラピダス社の立地により、市がどのように変化するか全体像をとらえなくてはならない。そのためには、半導体産業を理解し、ラピダス社及び関連企業の拡大予測を基に、人口予測を行う必要がある。現在、これらの作業が終わったことから、市街化編入には、欠かすことのできない「整・開・保」及び都市マスの見直しを行うところである。

ラピダス社の関係者は、市内に住んでいるが、戸籍は千歳市に移していないこともあり、統計上は人口が増加していない状況もある。ただ、関係者やその家族が、実際に千歳市内で生活の拠点を置き、継続的に暮らすようになれば、住民票を移す動きも出てくることが想定され、その結果として公式な人口統計にも反映されられると思われる。

【委員】

ラピダスの立地で、街がどんどん変化している。中心市街地に大きな建物が建設されているが、それに合わせて適切な道路整備を進める等の対応が必要になるのではないか。

【事務局】

必要に応じて検討していく。

以 上